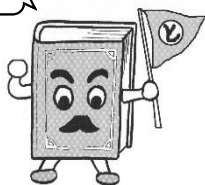




学校図書館へ  
GO!



# としょえもん

—学校図書館サポートだより 第3号 (通巻19号)—



## 5年間の学校図書館サポート事業を振り返って

八王子市教育委員会 統括指導主事 山本 武

平成22年度にスタートした学校図書館サポート事業も5年目を終えようとしています。本年度(平成26年度)で学校図書館担当が行ってきた全市立小・中学校の学校図書館の巡回訪問を終えることになります。この巡回訪問により、各学校の図書館の環境が大きく変わったことと思います。子どもたちを学校図書館にいざなう仕組みがたくさんできてきて、各校からも児童・生徒の来館者数が伸びた、貸し出し冊数が増加した、保護者のボランティアがより一生懸命にかかわってくれたとの報告も受けています。

また、学校の先生方の学校図書館の活用の仕方も変わってきたように思えます。例えば、学校図書館の利用に関して年間指導計画を作成し、授業等で計画的に利用したり、授業の一部分を学校図書館利用にあて、子どもたちの本に触れる時間を設定したりと学校独自の取り組みが進んできました。教員間でお勧めの本リストを作成し子どもたちに紹介したり、蔵書構成を考慮した選書を行ったりするなど、子どもたちの読書活動や学校の教育活動を充実するための実践が積極的になされるようになりました。

反面、先日の報道では女子高校生の一日のスマートフォン利用が7時間に及ぶなど、子どもた

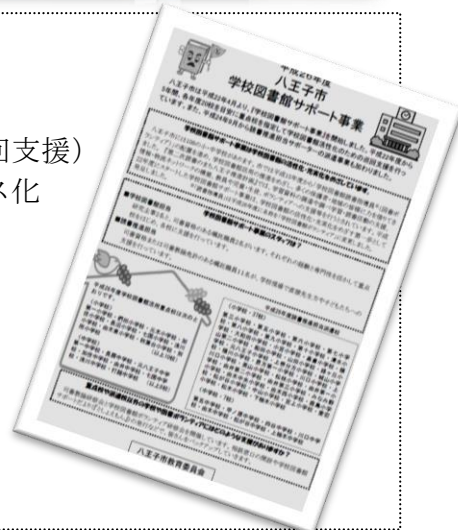
ちの生活習慣や人とのコミュニケーションの在り方などが社会問題ともなっています。学校では、体力や豊かな心の育成とともに思考力・判断力・表現力等の学力を身に付けていくことが求められており、学校の教育活動の一層の充実が必要となっています。このような背景の中、子どもたちの健やかな成長のために、学校図書館の利活用という手だてが学校の中で大きな位置を占めるようになってきました。学校図書館を積極的に活用する意識が各学校に醸成されてきていることは、この5年間の学校図書館サポート事業の大きな成果であると考えます。

市では現在、「第3次 読書のまち八王子推進計画」を策定し、引き続き「読書に親しめる環境づくり」に努めていく方針を立てています。その計画が実施される平成27年度は、新たなスタートを切ることとなりますが、教育委員会としても子どもたちの生涯にわたる読書活動を支え、生きる力をはぐくむ取り組みの充実のため、学校図書館サポート事業のさらなる充実を図らなければならないと考えています。



### ～学校図書館サポート事業の足どり～

- 平成22年4月 サポート事業のスタート  
(～平成27年3月の5か年で市内すべての小中学校へ巡回支援)
- 平成23年度 市内小中学校図書館の蔵書すべてをデータベース化
- 平成24年4月 八王子市学校図書館検索システムの始動
- 平成24年度 市内中学校の背ラベル貼付作業の実施
- 平成24年9月 学校図書館サポーターの派遣開始 (17校へ派遣)
- 平成25年4月 学校図書館サポーターを2名増員 (32校へ派遣)
- 平成25年6月 学校図書館活用協議会の設置
- 平成26年4月 学校図書館サポーターを3名増員 (44校へ派遣)
- ※平成27年4月 学校図書館サポーターを増員予定



## 平成 26 年度 研修会報告

### 第 3 回学校図書館ボランティア研修会 「事例発表と交流会」1月21日 午前10時～12時

本年度は、中学校1校、小学校2校に発表していただきました。

〔浅川中学校〕火曜日の昼休みと夏休み1週間の開館と環境整備等を行っている。分類番号による図書の管理や利用指導にかかわるとともに、図書委員会の生徒に図書館について学んでもらうことで活動に熱心な委員の姿も増えている。

〔第一小学校〕全学級で月1回程度行っている読み聞かせのボランティアと週1～2回書架の整理、図書の修理、装飾等を担当する図書館ボランティアが活動している。「読み聞かせた本のリストや当日の感想と本の内容」などの記録は、活動の貴重な資料となっている。

〔加住小中学校〕「小中一貫校の特色を生かした共有スペースを目指す」という学校の方針のもと、活動してきた。一つの図書館を完全に仕切るのではなく、小学校エリアと中学校エリアを設ける大改造を行い、分類表示や見出し札、装飾等を作製し整備が進んだ。

研修会終了後、短い時間でしたがグループに分かれて交流会を行いました。「同じようなことで悩んだり、いろいろと工夫されたりしていることがよくわかった。」

「交流会では情報交換ができ、大変参考になった。」等の感想が多く寄せられました。



### 学校図書館ボランティア ステッフアップ研修会 2月18日 午前10時～12時

ご存じ、ピーターラビットの誕生日は1893年9月4日。友人の5歳の息子ノエルくんが病気になり、その彼に作者のポターが送った絵手紙に初登場。いたずら好きのピーターが巻き起こすさまざまな出来事、これからピーターはどうなるのか、ノエルくん、きっとハラハラドキドキしながら次の手紙を待ったことでしょう。今回は中央大学名誉教授・元東京子ども図書館評議委員、池田正孝(いけだまさよし)先生に「児童文学の世界を訪ねて ―お話とスライドの会―」のテーマで「ピーターラビットのおはなし」をしていただきました。



作者ビアトリクス・ポターの生涯や業績、絵本の出版に至るまでのお話に続き、池田先生がこれまでイギリスで撮影されてきたたくさんのスライド映像を使って、お話の背景となっている建物・風景・風物を紹介してくださいました。それらは、作品を飾る挿絵のあちこちに登場。この風物があってこそピーターラビットが誕生したのだと納得の2時間でした。思い当たる節があるのか頷きながら聞いていたボランティアさん。「もう一度読み返してみたい」「学校では是非子どもに紹介したい」そんな声をいただきました。

### 学校図書館にいろいろ通信 川口中学校

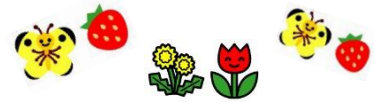
平成25年度の重点校をきっかけに、高い書架で塞がれていたカウンター窓口を開けるなど、司書教諭が中心となり、環境整備に力をいれてきました。今年度は学校図書館サポーターも派遣され、本の紹介や装飾も加わり、生徒の使いやすい明るい環境に生まれ変わっています。図書委員会活動も活発になり「だれもが本を読みたくなるようにしよう」というスローガンを図書委員みんなで決めて、大きく掲示しました。



2年生「職場体験」は1年時の職業調べから始まります。サポーターは中央図書館から資料を取り寄せ、学校の資料と合わせて、先生方のニーズに合った調べ学習用セットに組み直し、提供しています。きめ細かな対応は学校の中に着実に浸透しています。今まで取り組みたいと思いつながら進まなかった学校図書館の環境整備や、授業での活用、生徒の集う学校図書館に、目に見えて進んでいることがとても嬉しいとの司書教諭からの声です。中学校でのサポーターの活躍も、益々期待されます。

市内小中学校に派遣されている11名の学校図書館サポーターの活躍の様子や、学校の取り組みを紹介しています。

平成 26 年度学校図書館活用重点校の図書館を順次紹介しています。



<p>第一小学校</p>			<p><b>左:</b>読み聞かせと整備ボランティアさんたちが活躍中。この日は整備ボランティアの皆さんで修理講習をしました。 <b>右:</b>装飾は月に一回集まって季節に合った飾りをしています。</p>
<p>七国小学校</p>			<p><b>左:</b>重点校支援では図書委員会活動のお手伝いもしています。この日の活動では、本の汚れ落としをしました。 <b>右:</b>別の日、やはり、図書委員作製の帯をつけたおすすめの本をずらりと展示しました。</p>
<p>加住小中学校</p>			<p><b>左:</b>夏休み中に、司書教諭・ボランティアさんと一緒に図書館の大改造を行いました。 <b>右:</b>絵本の見出し札を作製中。赤い色を使って、書架の中でも映えるような工夫をしています。</p>
<p>別所小学校</p>			<p><b>左:</b>職員全員で、蔵書の整理、図書の廃棄作業を行い、環境整備も着実に進んでいます。 <b>右:</b>保護教図書ボランティアさんが作製した、春に向けての装飾。図書館の入り口も、一段と明るくなりました。</p>
<p>由井中学校</p>			<p><b>左:</b>図書委員生徒、有志ボランティアの生徒も加わり、本の並べ替えをしました。 <b>右:</b>図書ボランティアさん作製のかわいらしい季節のミニ展示コーナー。絵本にはPOPカードを添えてみました。</p>



## 本が好き！

このコーナーでは毎回本の紹介をしています。研修会の中で、講師の先生より紹介された本や学校図書館サポーター（読書推進担当）からのおすすめ本です。ぜひ読んでみてくださいね。

### 『ピーターラビットのおはなし』

ビアトリクス・ポター 作/いしいももこ 訳  
福音館書店



ステップアップ研修で取り上げられたピーターラビットの世界。そのお話は意外に知られていないのではないのでしょうか。童心に帰って読み直してみませんか。

### 学校図書館の窓から～

#### 『仔牛の春』

五味太郎 作・絵 偕成社



ページをめくると現れるのは一頭の真っ白な仔牛。春から夏、秋、冬、そして春へと、仔牛の成長とともに季節が移りゆく様子がシンプルな言葉でつづられています。五味太郎さん独特の色づかいが印象的で、ページをめくると「あれっ」と驚く場面の転換も自然に行われます。

季節のめぐりは毎年同じでも、仔牛は少しずつ大きくなります。仔牛の成長と自分とを重ね合わせる子もいることでしょう。児童・生徒が進学、進級をひかえた3月に読みたいお話です。（学校図書館サポーターH：由木西小・由木中央小・中山小・由木中担当）

### 『キラキラ読書クラブ 一子どもの本702冊ガイド』 改訂新版 キラキラ読書クラブ 編 /住田一夢 絵 玉川大学出版部

子どもが自分で本を探せるブックガイド。書名、作家名だけでなく、主人公名、年齢、舞台となった国など、沢山のキーワードから本にたどり着くことができます。ブックトークや読みきかせの本を探す際にも、大活躍しそうな一冊です。



## 図書館へGO！



「としょえもん」が誕生して5年。今号で19号を数えることになりました。今、この5年間を振り返ってみると八王子市小・中学校の学校図書館を取り巻く環境もずいぶん変わってきたと感じます。学校図書館サポート事業がスタートし、学校図書館担当4名が学校図書館活用重点校の支援を始めました。校長先生や副校長先生、司書教諭や図書館担当の先生と連携したり、学校図書館ボランティアの皆さんの協力を得たり、子どもたちや先生方が使いやすい、足を運びたくするような図書館を目指しました。また、司書教諭研修会や学校図書館ボランティア研修会など研修会の企画・運営にもかわり、相当な数に上る先生やボランティアの皆さんに参加していただきました。

八王子市も学校図書館の蔵書のデータベース化、検索システムの導入、司書資格を持つ学校図書館サポーターの学校への派遣、市中央図書館による学校貸出の拡充と配送システムの実施など、子どもたちの読書活動の推進・活性化に向けた事業を展開しています。平成27年度はさらに充実に向けたサポート事業が始まります。一步一步充実してゆく学校図書館。本との出会いを求めて、さあ、みんな、「図書館へGO！」



由井第三小学校  
図書  
の  
授  
業  
風  
景

先生と一緒に、大型絵本の読み聞かせをする学校図書館サポーター

八王子市教育委員会 学校教育部指導課

学校図書館担当（教育センター内）

平成26年度第3号

3月3日発行  
（通巻19号）

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988  
住所 八王子市散田町 2-37-1  
e-mail [b301400@city.hachioji.tokyo.jp](mailto:b301400@city.hachioji.tokyo.jp)